2026 年 10 月 25 日

フォト･レター

嶋田彰夫



気候変動に依る自然災害の恐ろしさを身近に感じる日々が続いています。それでも日本に、千葉県に、松戸に住んでいて楽しい事も沢山あります。10 月の中旬になって、秋の青空に気持ちの良い刷毛を伸ばしたような「すじ雲(巻雲)」がみられるようになりました。

僕のすぐ近くでも、土曜や日曜に松戸市の国際文化祭、市民会館のジャズビッグバンド演奏会、松戸神社の神幸祭、江戸川の河原のコスモスや野鳥。それから、箱根駅伝の予選会、学生野球。文京区本郷の大学キャンパスに「昆虫」公開セミナーに行ったら、丁度ホームカミングデーで大賑わいでした。

武装ドローンはどこにも飛んでいません。

The Sunny Saturday and Sunday, the days of celebrations, gatherings, festivals, learning, and some more fun, do not allow any armored drone aircrafts flying over any creature.



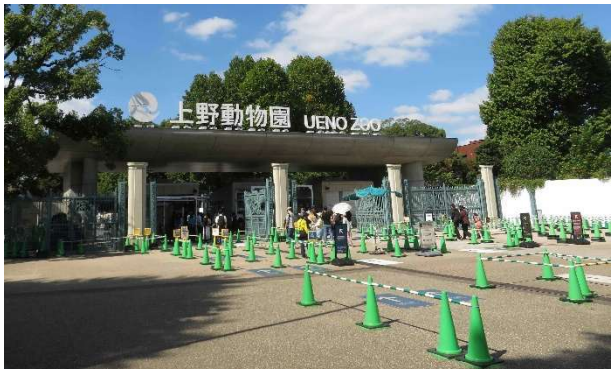






○　上野のダリア　Dahlia Garden in Ueno Toushougu

　良く晴れた土曜日の上野公園は色々なイベントがあって多くの人が歩いていますが、パンダさんが住んでいない上野動物園の正面ゲートは人影がまばらです。その左側の東照宮ぼたん苑の「秋のダリア展」が見頃でした。







ダリア

名前:	ダリア
学名:	Dahlia
和名:	天竺牡丹
種類:	キク科ダリア属の球根植物
開花期:	7 月から 10 月
原産地:	メキシコ　中南米

名前の由来:

ダリアは、スウェーデンの植物学者リンネの弟子、アンデルス・ダール（Andreas Dahl）の名前に因んでつけられたという説があります。

また、和名の「天竺牡丹」はインドを経て日本へ伝わり、牡丹の花に似ていた事から、天竺＝インドの牡丹（天竺牡丹）と呼ばれる様になったとされています。

（ぼたん苑の説明文より）



























○ 松戸神社のお祭り「神幸祭」 10 月 18 日（日） Omatsuri, Matsudo Shrine Shinko Festival

松戸神社神幸祭

宝暦年間（1751 年から 1763 年）の祭具が今に残されていて、約 270 年前から伝わる格式高い神輿行列です。

江戸時代には「近郷近在からの見物客で松戸の宿があふるる」といわれたお祭りです。

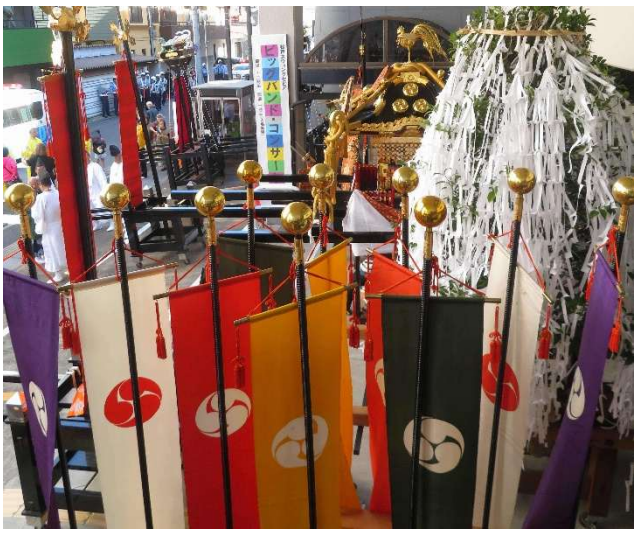
古式装束に実を包み「四神旗」を掲げた一行などが、松戸神社を中心に松戸駅周辺を練り歩く盛大な祭りです。

昭和初期の齋行を最後に途絶えていましたが、平成元年に神社の蔵から木像の四神（青龍・朱雀・白虎・玄武）が発見されたことを機に復活。例大祭である 10 月 18 日が日曜日に重なる年のみ、古式に則り齋行されます。

（松戸市ホームページ説明より抜粋）









この日の午後、松戸市の市民会館でアマチュアのジャズビッグバンド演奏会がありました。会場が丁度御神輿と行列の皆さんの昼休み場になっていました。

午後の行列の出発が見学できました。また、コンサートの後に松戸神社に行くと、行列の到着点で、戻って来たところでした。

















＊＊＊

○　ナガシマ･ゲートとオウ･ゲート　Nagashima Gate and Oh Gate at the front entrance of Tokyo-Dome

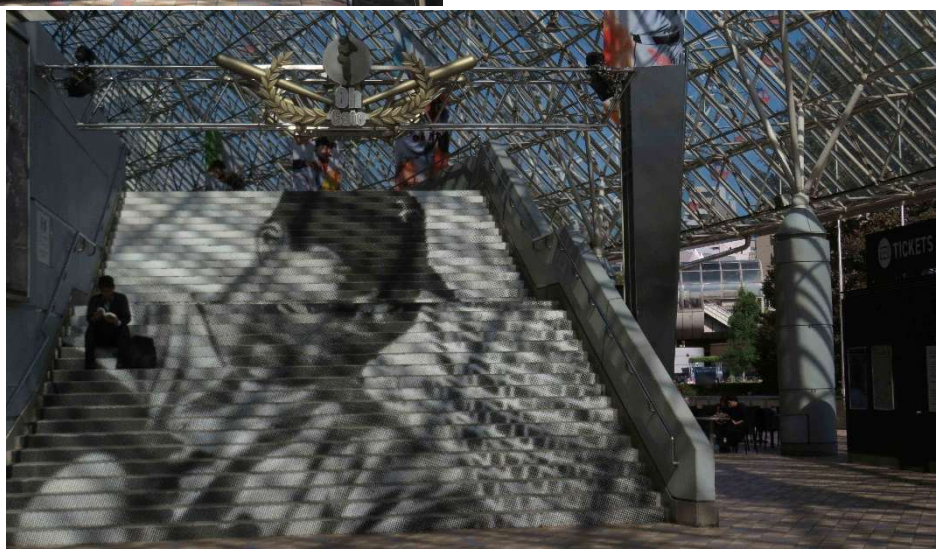


後楽園東京ドームの正面
左側　　ナガシマ･ゲート
右側　　オウ･ゲート

　子どもの頃、近所の読売新聞の配達のお兄さんから後楽園球場の巨人戦外野席入場券をもらいました。

　休日のデーゲームを兄と一緒に観戦に行きましたが、試合開始のずっと前から満席になってしまい、入場出来ないことが多かったです。

　場外で歓声を聴いていましたが、終盤 8 回頃になって勝負の行方が見えてくると球場から帰る人が出て来ます。それを見て入口に行くと入場券なしでも入れてくれました。それでも球場の熱気を感じて嬉しかったですね。





「おお！金だ！拾おうか？」

王、金田、広岡

言いましたか？